

YouTubeチャンネルのご案内

自治医大前キリスト教会ではYouTubeで『聖書読みたい人この指止まれ～やさしい聖書のおはなし～』と題し、聖書のお話を配信しています。聖書に興味があるけど読むきっかけがないという方や、一度教会に行ってみようと思っている方々向けの内容です。

そして今回はイースターのお話

【私を変える新しいいのち】です。

HPからアクセスしご覧ください☆☆

YouTubeで共にイースターをお祝いしましょう!

是非お立ちよりください☆☆



動画のバックナンバーをご覧になりたい方はこちらからお入りください→



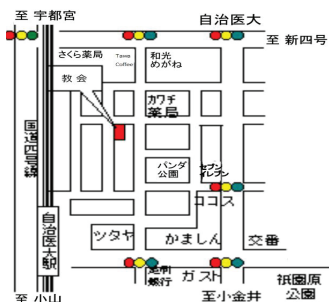
4月17日 イースター礼拝 10:30～ 会堂にて (ZOOM併用)

【毎週日曜日の礼拝案内】

(日) 9:15～9:45 教会学校 : (ZOOMのみ)

(日) 10:30～12:00 主日礼拝 : (ZOOM併用)

コロナ禍の中、当教会は手指消毒など感染対策を徹底しています。
ZOOMを使ったオンライン礼拝やオンライン教会学校も行っています。



お問い合わせ先

自治医大前キリスト教会

下野市医大前3-7-1

TEL 0285-44-7564

<http://jichi.c.ooco.jp>

牧師 小倉 泉



当教会は伝統的なプロテスタント教会です。

イースターで思い浮かぶもの?
石の巨人モアイでしょ!

イースターって最近よくきくようになったよね
卵の日じゃないの??

イースターって何??

リオのカーニバルって有名だよね。
あれ、イースターと関係あるんでしょ?

Happy
Easter

自治医大前キリスト教会だより No.3



「イースター」はまだマイナー？！

キリスト教の祭りで「クリスマス」を知らない人はいないでしょうが、最近はかなり目にするようになってきた「イースター」は、まだまだ日本では定着してはいないようです。

うちの息子に「イースターで何を思い浮かべる？」と聞いてみたら「モアイ」ということばが帰ってきました。「モアイ」は南太平洋のイースター島にある人の形をした石像です。モアイがどのように作られたかは謎のままロマンをかきたてられます。そんなこともあってイースター島は世界遺産に登録されるくらい有名です。この島は現地のことばでラバ・ヌイと言いますが、ヨーロッパ人に初めて知られた日が1722年のイースターの日だったので、イースター島と呼ばれるようになりました。

現地の人たちには迷惑な話だったかもしれませんが…。

カーニバルと「イースター」は切っても切れない関係にある！

リオのカーニバルは有名で、それをまねた〇〇カーニバル、〇〇サンバなどが日本でもあちこちで行われています。このカーニバルの起源を皆さんは知っていますか。カトリックなどでは、イースターの前の40日間をレントと言って、キリストの受難を覚えて、楽しみを控える時と定めています。食事も連動して肉類を食べない習わしになっています。

そのためレントが始まる直前の数日間は、肉を食べて大いに楽しむようになりました。それがカーニバルの起源なのです。ちなみにカーニバルということばはラテン語の「肉を取り除く」とか「肉よ、さらば」に由来しているそうです。ですからイースターが無ければカーニバルも無いという切っても切れない関係にあるのです。

「イースター」は卵の日でなく“キリストの日”です。

多くの人たちにとって「イースター」で思い浮かべるのは卵やウサギではないでしょうか。街角では確かに卵やウサギがイースターということばとペアになって出てきます。でも「イースター」は「クリスマス」となればキリスト教の大切な祭りなのです。

「イースター」は日本語では「復活祭」と呼ばれます。十字架に架けられて死んだキリストの復活を記念する日だからです。聖書は「**神は、…イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちに新しく生まれさせ、生ける望みを持たせてくださいました**」と宣言します。十字架で死んだキリストは三日目に死から復活し、信じる者を新しく生まれ変わらせる永遠のいのちを与えてくださったのです。この永遠のいのちは、人を天国に導くだけでなく、その人を新しく生まれ変わらせる力を持っています。

キリストが十字架に架けられた時、ペテロたちキリストの弟子はみんな逃げ出し隠れてしまいました。自分たちもキリストと同じに殺されると思ったからです。でも、復活したキリストが現れ、彼らに永遠のいのちを与えた時、彼らは別人のように変えられました。キリストを殺したユダヤの指導者の前でも、キリストが復活したことを宣言し、堂々と彼らの間違いと罪を指摘し、悔い改めるように求めたのです。普通に考えたらこれは自殺行為です。ユダヤの指導者の怒りを買って殺されても仕方ないでしょう。でも弟子たちは少しも恐れることなくそれをやってのけたのです。

自堕落な放蕩息子から聖人と呼ばれるまでに変えられた人、人を人とも思わぬ奴隷商人から世界中で歌われる讃美歌作者に変えられた人、家族を殺害した相手を赦し献身的に世話する者に変えられた人、永遠のいのちによって生まれ変わり、人生を新たにされた人々の例です。ここまで劇的でなくても、それまでの自分の殻を破って新しい自分を見つけた人は数知れずいます。新しいいのち、新しい生き方を与えるキリストの復活。イースターはそれをお祝いする大切な記念日なのです。

卵からヒナが生まれてきます。卵は新しいいのちを生み出します。それでキリストを復活させた新しいいのちを象徴するものとして、イースターで用いられているようです。また、ウサギは多産なので、これもいのちの祝福を象徴するものとして用いられているようです。

自分は今のままでいいのかな、これまでと何か違う自分になりたいと感じているなら、復活のキリストのところにきてください。キリストは新しいあなたへと、永遠のいのちで祝福して下さいます。

